

お母さんのつえ

福島県 会津若松ザベリオ学園小学校 四年

内藤ないとう

龍一りゅういち竜りゅう

お母さんと出かける時は、

ぼくの体はお母さんのつえ代わり

だって、お母さんはそんなに歩くことが

できないから。

フラフラフラフラ

フラフラフラフラ

ぼくもときどきフラっとくるけど

それを見ているだけでぼくは、

ハラハラハラハラ

ハラハラハラハラ

でも、お母さんがぼくの肩をつかん

でいる時は、本当は、首がいたい

ぼくのうでをつかんでる時は、

かたがいたい

ごめんね、ごめんね、とお母さんは

言うけれど

ぼくは、お母さんの力になりたい。

お母さんと一緒に歩いていきたい。

早く身長を高くして

体も大きくして

もっともっとお母さんを

支えてあげるからね。